



明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。日ごろ買い支えて頂いている皆様に感謝の気持ちを込めて、新年のご挨拶をさせていただきます。どんなにいいものを作ったとしても、それを買って頂かないことには、私たち生産者は暮らしていけません。本年もどうぞよろしくお願いいいたします！

年末ギリギリまで年賀状すら書かずに、大片付けと大掃除にいそしんだ我が家ではありますが、どちらも大の苦手なのが私エリ。時間をかけた割に綺麗になったのかがイマイチ分からないのが辛いところです...。私たち夫婦が阿蘇に来る前、3年半も暮らしていたドイツは、きれい好きが多い国でした。昔から「いいお嫁さん」の条件と言え、料理がうまいかどうかよりも、グラスが綺麗に磨か



れているかどうか、ということだそう。突然遊びに行っても、驚くほど綺麗にしているお宅ばかりでした。お隣のイタリアやフランスとは全然違うのです。一方で耕太は、きちんと整理整頓ができる人。農作業をする時に、道具から探さなければいけないとなると、かなり時間の無駄になってしまいます。いい加減、彼を見習って、家はもちろん、倉庫や作業場も片付けておきたいと思っはいるのですが、去年も同じことを思っていたような...。炊事さえ放棄して片付けをしていたら、なんと子供たちがご飯を作ってくれました。ありがたいなあ...。そうかと思うと、「障子の穴をふさいで」と頼んだつもりが、楽しいお絵かきの時間になっていたりして。意外にもステンドグラスみたいで綺麗でしたけど！



そんな慌ただしい年末がウソのように、お正月は家族とゆっくり過ごすことができました。温泉にも入って疲れがとれました。

話が少し遡りますが、我が家では特にクリスマスをお祝いしません。クリスマスが嫌いなわけではないのですが、日本のクリスマスは完全に商業化している気がするし、クリスマスとお正月があまりに近すぎて、お正月の「有り難味」が薄れてしまうように思うからです。お年玉がそれなりに期待できる息子たちは、クリスマスをお祝わないことに対して特に不満はない様子。そんなわけで、24日のイブには、ツリーの代わりに門松を作りました。竹の後ろに



穴をあけてローソクを置けるようにしたところ、幻想的でとっても綺麗。制作班の男性たちに乾杯！

初詣はもちろん、いつも私たちを見守ってくれている天神さんへ。お賽銭を投げて手を合わせたところ、子供たちが自主的に「今年もお米がたくさんとれますように」とお願いする姿を見て感動しました。彼らがいつまで阿蘇にいるか分かりません。農業をするかどうかも分かりません。でも、年の初めに豊作を願うその心は、きっと彼らがどこで何をしても沁み付いていることでしょう。三つ子の魂、ってやつですね。心身ともに健やかに育っていることを神様に感謝しました。もちろん、豊作の祈願も。



阿蘇で暮らし始めてから、周りのお年寄りが持つ知恵や技にたくさん触れてきたのですが、そうした「無形文化財」はできる限り残したいという気持ちが年々強くなっています。農村の活性化を目指した県の事業に応募したところ、めでたく採択されました。おば様方からはお漬物やおはぎの作り方を、おじ様方からはしめ縄やワラ細工を教わり、それらを映像などに残す活動に取り組み始めています。聞き取り調査を進めるうちに、「どんどや」とセットの「モグラうち」の話題に。話しているうちに「じゃあやろうか」という話になりまして。昨春からO2ファームのお手伝いをしてきているなっちゃんの集落で約10年ぶりに「モグラうち」を復活させることになりました。

まずは道具づくりから。材料は竹とワラと縄です。教えてもらいながら私も作ってみました。この棒で地面を叩きながら、小学生以下の子供たちが家々を回ります。本当にモグラが退治できているかどうかはさておき、ご近所さんたちが労をねぎらって子供たちにお餅やお菓子をあげるの、持参した袋がパンパンに。子供たちはもらったお餅を、同日の午後か翌日に開かれるどんどやで焼き餅にするのがならわしだったそうです。これはもしかして日本版ハロウィーン！？失われかけている知恵や技や文化を、こんな風に受け継いで、楽しみながら発展させていきたいと思えます！



そしてどんど焼き。高く積んだ櫓に火を点けると、竹の爆裂音と共にゴーゴーと火が燃えます。音は厄払い、熱は無病息災を祈るためだそうです。竹筒に入れて燗をつけた「かっぽ酒」が美味しすぎて、酔っぱらいました～。それもまた恒例行事ということで(笑)。



ところで、今年度から農水省が「農業女子プロジェクト」という企画をスタートさせました。その一貫として、エリはダイハツ社(軽トラックについて)やアウトドア用品のモンベル社(作業服について)との意見交換会に参加。作業服については「素敵で動きやすく丈夫な作業服が欲しい」という農業女子の思いが強く、アツい要望が次々出てきました。今シーズンは、モンベル社さんの新作をモニターとして着させてくれるとのこと。毎日の農作業が、楽しみになりそうです！

そんなこんなで、無事に新年を迎えたO2ファーム。今年も安全でおいしいお米ができるよう、精一杯努力します。本年もどうぞよろしくお願いたします！